

社会の中でどう生きる？

わがまちの人権宣言をつくる

(100分)

【対象者】

高校生、保護者や成人一般
10人～20人程度

【関連する視点・課題】

参加・参画

ねらい

学校や地域で、自分たちの住むまちの人権宣言づくりに取り組んでみましょう。住民のだれもが安心して住むことができる地域にするためには、どんなことを大切にすべきか話し合い、社会の形成に主体的に参画する態度を学びます。

準備

- 付箋紙
- 筆記用具
- ふり返しシート（人数分）
- 模造紙等

アクティビティの実際

導入
(10分)

アイスブレイキング

※「ジャンケントレイン」を実施する。
(14ページ参照)

展開
(60分)

わがまちの人権宣言をつくる

- 1 5～6人のグループ（人権宣言作成委員会）をつくります。
- 2 自分たちの地域について、「誇りに思うこと、改めた方がよいと思うこと」をリストアップして付箋紙に書きます。
(高齢者や子ども、女性などの課題を焦点化するなど、だれのどの人権を考えるかを含めて進めます。)
- 3 グループで「誇りに思うこと」「改めた方がよいこと」を書いたカードを模造紙に貼ります。その際、一人ずつカードを読み上げながら貼るようにします。
- 4 各グループ（委員会）で分類したものを発表します。
- 5 発表後、住民が安心して住みやすいまちづくりをするために大切なことは何かをグループで話し合います。
- 6 話し合いを踏まえ、わがまちの人権に関わる宣言をグループでまとめ、宣言の原案を模造紙等に記載します。

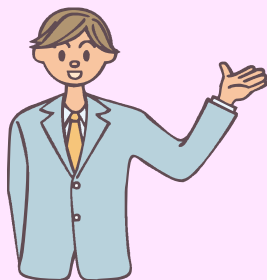
7 それぞれグループでつくりあげた人権にかかる宣言を発表します。

ふ り 返 り
(30分)

ふり返り

- 1 全体で、発表された宣言について意見交換を行います。
- 2 ふり返りシートを配付し、安心して住みやすいまちづくりをするには、住民一人一人がどのように関わり、行動することが大切なのかを、各自シートに記入します。
- 3 人権宣言づくりを通して、より良い社会を形成するには、一人ひとりが参加・参画することの大切さを確認します。

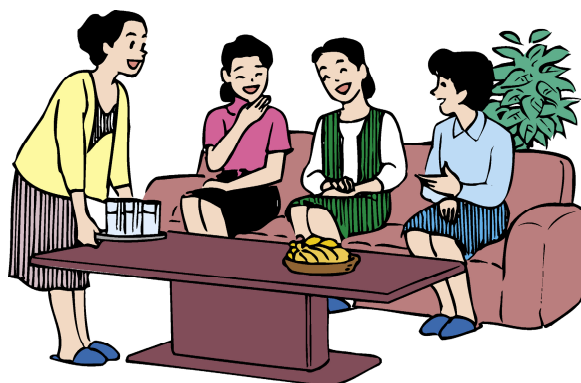
ポイント



- 人権に関する宣言や憲章、提言は、学校や民間団体など、多くの住民参画を得てつくられています。実際の社会づくりに参画することを通して、一人一人が権利の主体者として自覚を高めていくことが大切です。
- 社会への参画の趣旨を踏まえて、様々な意見を出し合い、また受け入れ、人権宣言を作成し、多くの人に伝えていきましょう。

【応用・発展のために】

- 原案を、各種イベント、研修会、子どもたちの集会等の場で発表し、行政関係者や住民に広く知らせ、意見をもらいましょう。そして、条例制定や市民憲章づくりに関われるよう社会への参画意欲を高めましょう。



「わがまちの人権宣言」ふり返りシート

(1) あなたは、グループの他の人の意見や考えを聞いて、どんなことを感じましたか。

(2) あなたは、わがまちの人権宣言の作成に、どのように関わりましたか。

(3) 関わりをとおして、人権宣言づくりにはどのような行動が必要だと考えますか。

(4) 本日の学習で感じたことは何ですか。

(5) 本日の学習をとおして、今後、社会（家庭も含む）へどのように参加・参画していこうと思いますか。

「〇〇〇まち人権宣言」

わたしたちは、国連・児童(子ども)の権利条約の理念を踏まえ、人間性豊かで誇りのもてる〇〇〇まちを創っていきます。そのためには、子どもとおとなが市民として互いの意思と力を尊重し、理解を深め合うことが大切です。そこで私たちは、現在、未来の〇〇〇まちを支え合っていくために、ここに「〇〇〇まち人権宣言」を定めます。

【子どもから】

- 1 みんな幸せになる権利がある。
短所も別な見方をしたら長所かもしれない。
- 2 わたしは世界でただ一人、だから大切。
あなたも世界でただ一人、だからやっぱり大切。お互い大切なんだから、いやがることはしないようにしよう。
- 3 学校の勉強だけが学ぶことじゃない。
遊びからも友達からもたくさん学ぶことができる。だから遊びと友達を大切にしよう。
- 4 一人で悩んだりしないで、だれかに助けを求めたっていい。別に恥ずかしいことじゃない。
- 5 けんかはほどほどに。
けんかもそんなに悪いことじゃない。
けんかから学ぶこともある。

6 〇〇・・・・・・・・・・・・・・・・

【おとなから】

- 1 自分を大切にし、希望をもって生きる姿勢を示していきたい。
- 2 どの子どももみんな一人一人違います。その違いをその人の豊かさとして受けとめます。
- 3 子どもが自分と周りを変える力をつけるために学び、活動していくことを支援します。
- 4 子どもが安心して集い、交流し、ありのままの自分を出せるような居場所を子どもとともに創っていくよう努めます。
- 5 子どもに愛情を持って接し、干渉しすぎたり、一人で背負い込まないで、地域の人々とともに子どもの自治を支え、楽しく子育てを進めます。

6 〇〇・・・・・・・・・・・・・・・・